

1 研究開発プロジェクト名:

クラウド型電子カルテと地域医療連携システムの標準対応による地域包括ケア医療情報基盤の構築

2 当該年度の研究開発プロジェクト実施予定期間:

2014年4月1日から2018年3月31日 / 4年計画の4年目

3 応募者

氏 名	繁田 祐一
所 属 機 関	セコム医療システム株式会社
所 属 部 局	ソリューション部 電子カルテセンター
職 名	センター長

4 研究開発プロジェクトの概要

地域包括ケアシステムの構築では、病院や診療所だけでなく在宅や施設等の様々な地域資源が協力して、「地域で患者を見る」仕組みが求められている。そのためには、地域で患者の医療情報を共有できるシステムは有効なツールである。

しかし、地域の医療情報を共有する地域医療情報連携システムは地域、病院ごとに異なるベンダーのシステムが導入されており、システム同士の連携を行うためにはベンダー間での互換性を取ることに労力がかかり、費用も高額になることが多い。また、病院が地域の診療所に患者情報を公開するという病院から診療所への一方向の診療情報の共有の事例が多く、退院後どのように療養生活を送っていたのかを病院が詳細に把握するシステムがなかった。

今回、地域医療情報連携システム、クラウド型電子カルテを国際標準規格に対応させることで下記を実現し広く地域包括ケアに貢献できる基盤の構築を目指す。

- ・異なるベンダー同士の電子カルテ、地域医療情報連携システムを導入している医療機関同士でも医療情報の相互利用を可能にする仕組みを構築する。
- ・診療所と病院が、医療情報を相互利用可能にすることで、患者の地域（診療所等）での診療内容を、病院が入院治療時に活用可能にする。